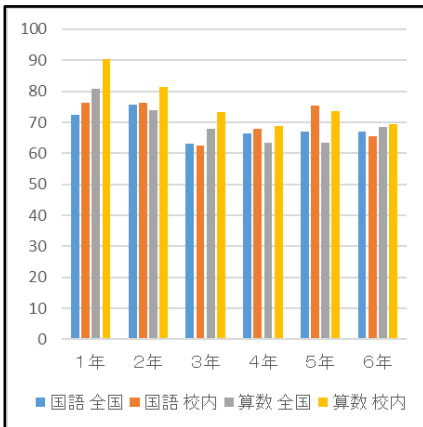
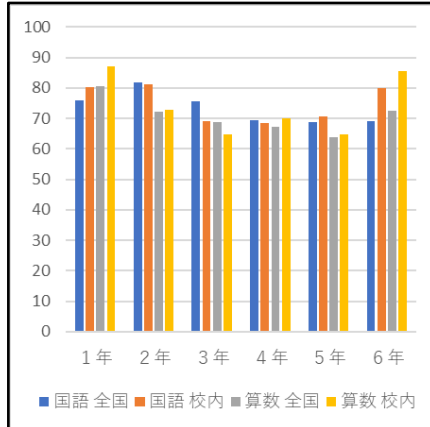


瀬戸田小学校 学力向上について

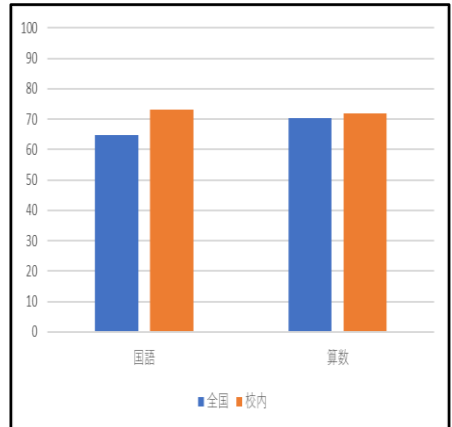
令和2年度 学力調査の結果



令和3年度 学力調査の結果



令和3年度全国学力・学習状況調査



【成果と課題】

○概ね全国平均と同等の学力を有している。

○授業改善を重ね、単元末テストでも9割以上の児童が、正答率80%以上である。

▲前学年の漢字の定着が不十分である。

▲資料から、必要な情報を抜き出し、条件に沿って意見を書くことが難しい。

(R3学力調査「情報の扱い方」に関する設問正答率)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全国	65.1	81.4	64.5	64.4	64.9	70.1
校内	71.4	85.0	58.5	62.1	55.7	76.6

(R3学力調査「書くこと」に関する設問正答率)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全国	69.5	69.0	61.3	59.6	62.7	65.8
校内	70.5	75.6	46.8	59.3	66.4	84.0

令和4年度 学力向上の取組

①読解力向上を目指した

授業改善の実施

文学教材を用いた授業改善に取り組みます。児童が書かれていることを根拠に想像し、考えたことを表現する授業を行います。



②モジュール学習の充実

曜日ごとに科目を設定し、週4日間朝の帯タイムを活用して、漢字や計算力、言語技術の向上に向けて、プリントやフラッシュ学習を行います。



③非連続テキストを読み取る

学習の実施

資料を基に、必要な情報を取り出し、条件に合わせて書く活動を実施します。文章だけでなく、グラフや表などを読み込んでいきます。

